

Vol.84 「学生時代を振り返って思う学校制服の良い点」

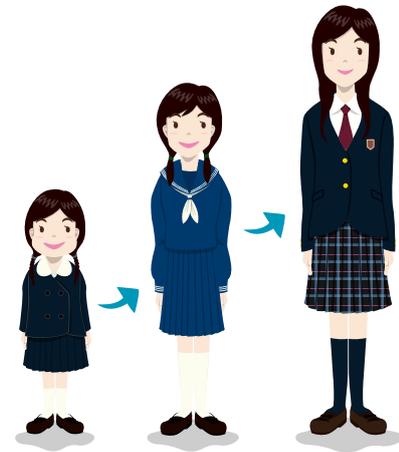
学校制服には、「詰襟」「セーラー服」「ブレザー」「スーツ」「イートン」といった様々なタイプの制服があります。入学から卒業までの長い時間ほぼ毎日着ている制服ですが、大人になって振り返ってみて、どのように感じているのでしょうか？今回は、全国の20歳以上の男女を対象に、学校を卒業してから感じた制服の必要性と、制服の良い点について伺いました。

調査概要

調査対象：全国の20歳以上の男女1,255人

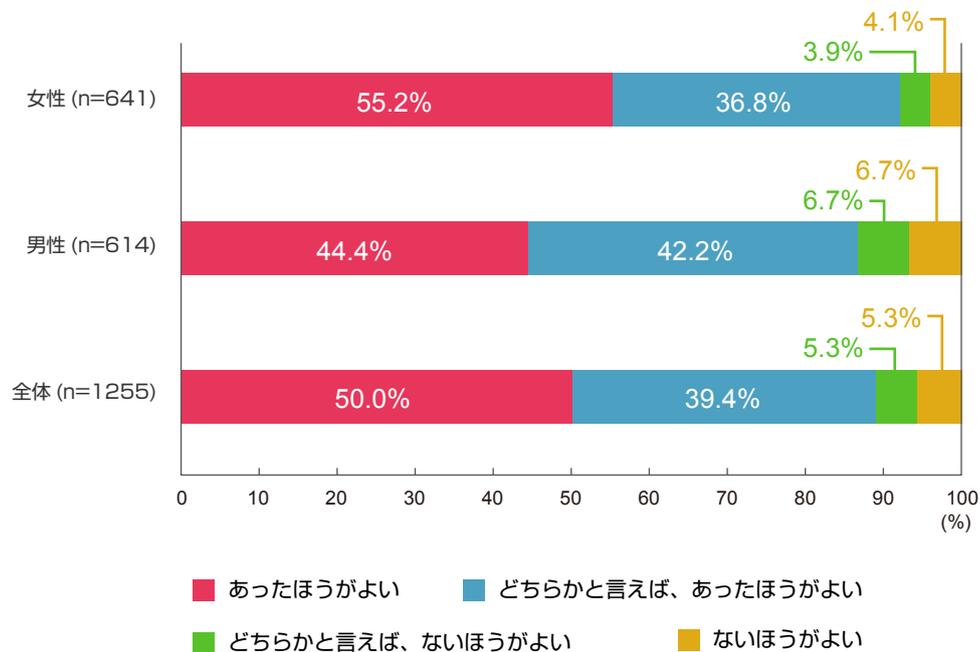
調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2012年9月



Q 制服の必要性

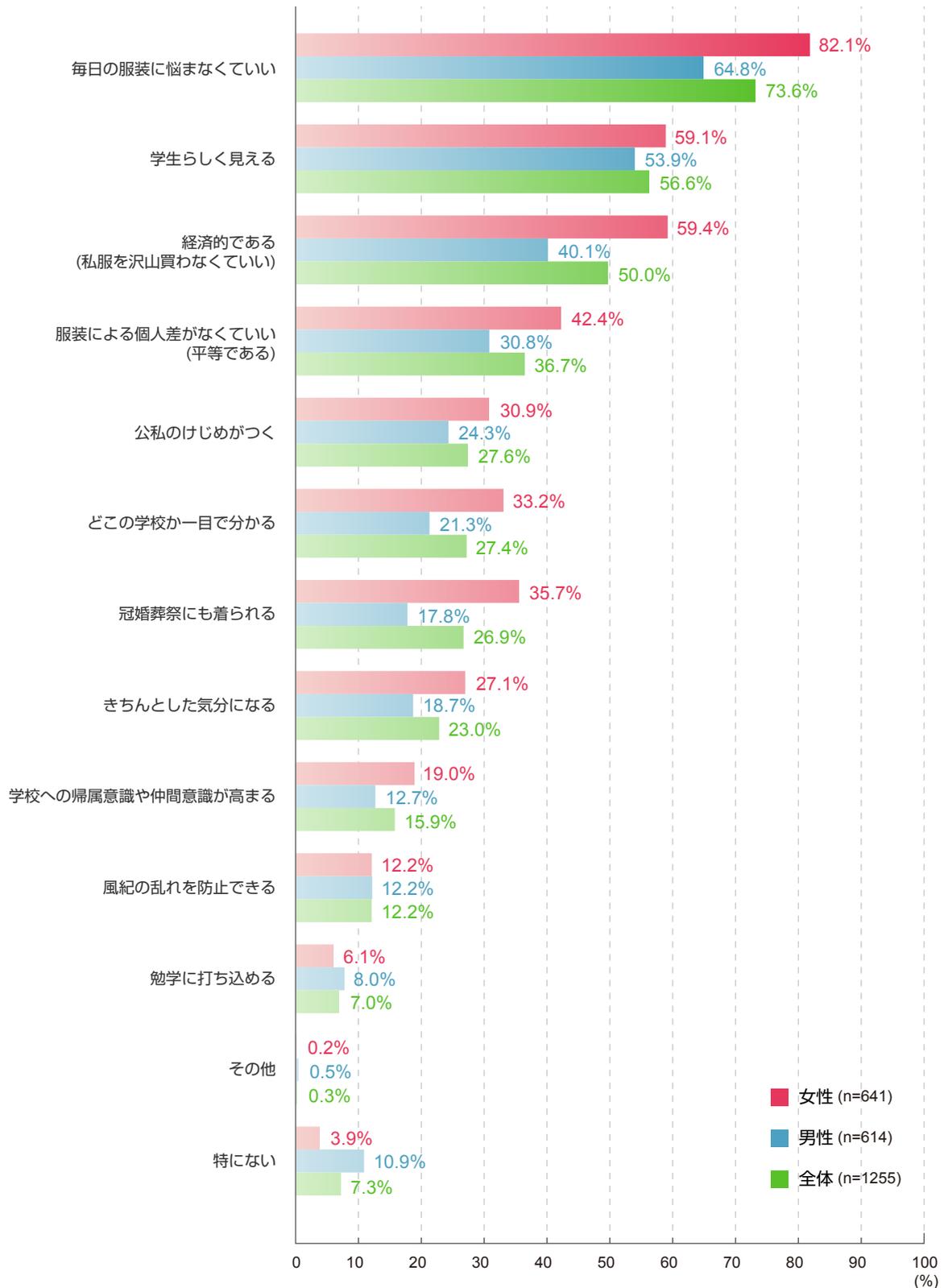
20歳以上の男女が思う制服の必要性は、「あったほうがよい」「どちらかと言えば、あったほうがよい」を合わせると、約9割が制服はあったほうが良いと回答しています。



【図1】 学校制服はあったほうが良いと思われますか？(単数回答)

Q 制服の良い点

制服の良い点は、「毎日の服装に悩まなくていい」が、女性82.1%、男性64.8%、全体73.6%と最も多く、次に、「学生らしく見える」、「経済的である(私服を沢山買わなくていい)」、「服装による個人差がなくていい(平等である)」など制服の良い点として上位にあげられています。また、女性は男性に比べて制服の良い点を多くあげる傾向が見られます。



【図2】学校制服の良い点はどのようなところだと思いますか？(複数回答)

 まとめ

制服と言えば、「詰襟」と「セーラー服」というイメージがありますが、その他にも「ブレザー」「スーツ」「イートン」といったタイプの制服や、学校オリジナルのデザイン・カラーの制服など、「制服」と言っても学校により様々です。

今回の調査では、20歳以上の男女を対象に制服の必要性を伺ったところ、約9割が「制服はあったほうが良い」と回答していることから、制服の必要性を感じている人が多いことがわかりました。制服の良い点としては、1位「毎日の服装に悩まなくていい」、2位「学生らしく見える」、3位「経済的である(私服を沢山買わなくてもいい)」、4位「服装による個人差がなくていい(平等である)」などがあげられ、その他の回答として「皆が同じ制服を着ることで、いじめ防止になる」という意見もありました。制服は学校や学生の象徴であると同時に、制服を通じて規律を学んだり、仲間との絆を強くしたり、平等な教育環境をつくるなどの様々な効果があるようです。

また、小学生から中学生、中学生から高校生になるときに、「制服」が変わることで、子どもは少し大人になったような気持ちになるようです。

毎月最終
火曜日
更新

kanko ホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

検索

<http://ozaki.jp/homeroom/>